

第86回ウォーキングのご報告

11月18日（火）名鉄のハイキング「聚楽園大仏を囲む紅葉を眺め晩秋を感じるコース」を歩きました。10時20分名鉄聚楽園駅に3名が集合。駅前広場で「細井平洲先生誕生之地」の碑を眺め、地図を確認して聚楽園公園に入り、聚楽園大仏と対面しました。

この大仏は日本最大の鉄筋コンクリート製で奈良や鎌倉の大仏より大きく、東海市のシンボルとして多くの人に親しまれています。



聚楽園駅前の広場にて



幼稚園の遠足に会う

大きな池の周りにはあふれる自然があり、四季に応じて咲き競う花も訪れる人の目を楽ませています。公園内で出会ったチョウセンアサガオがとても新鮮に感じられました。



3人で池をバックに

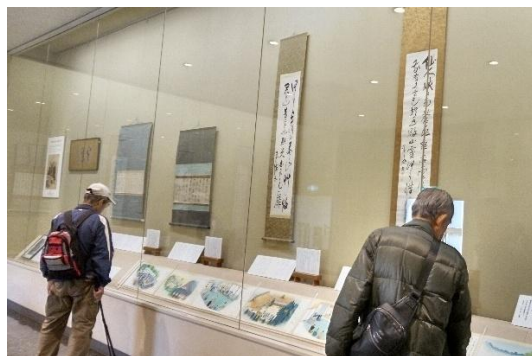


満開のキダチチョウセンアサガオ

次に、聚楽園公園を後に、平洲記念館に向かいました。東海市出身、江戸時代の儒学者細井平洲は尾張藩藩校「明倫堂」の初代督学であり、米沢藩の上杉鷹山の師としても有名です。平洲記念館には平洲にまつわる資料が豊富で、平洲直筆の書画も多数展示しており、平洲の教えを肌で感じることができました。



平洲記念館前にて



平洲直筆の書画の展示を見る

展示の中に平洲と上杉鷹山の像があり、この二人にあやかりたくて記念写真を撮ってもらいました。平洲記念館の見学を終えて、次は大池公園に向かいました。東海市役所に隣接する広大な公園でここにも大きな池があり、陽だまりで遅めの昼食をとった後、ゆったりと池の周りを散策しました。



上杉鷹山と平洲の像の前で記念撮影



広大な池の周りを散策



足取り軽く、心も軽く



第

名鉄太田川駅で電車を待つ

今回は会員の多くが体調不良で 3 人しか参加できませんでしたが、天候に恵まれ楽しいウォーキングでした。来年は大勢でウォーキングができるよう、願っています。